

RSウイルス感染症患者が増えています

～乳幼児のいる家庭や保育所、学校等ではご注意を！！～

1 概要

現在、本県ではRSウイルス感染症患者が増加しています。

RSウイルス感染症とは、RSウイルスの感染によって起こる呼吸器感染症で、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するとされています。生涯にわたり何度でも感染と発病を繰り返しますが、生後数週から数カ月の期間にもっとも重症な症状を引き起こす場合がありますので、乳幼児は特に注意が必要です。

本県の第38週（9月20日～9月26日）の1定点医療機関あたりの報告数は2.26人（定点医療機関34ヵ所、報告数77人）となり、ここ数週間増加傾向にあります。

なお、第38週における保健所別定点あたり患者報告数は、南部保健所が4.13人で最も多く、次いで那覇市保健所が3.14人、宮古保健所が3.00人、北部保健所が1.67人、中部保健所が0.92人で、本島全域と宮古地域で報告が確認されています。一方、八重山保健所管内では、現在のところ報告はないものの今後注意が必要です。

RSウイルス感染症も新型コロナウイルス感染症も、感染予防策は「3密（密集、密接、密閉）を避ける」、「手洗い」、「マスクの着用（咳エチケット）」が重要となりますので、これらの呼吸器感染症対策の周知について、あらためてご協力いただきますようお願いいたします。また、県民の皆様、学校、保育園等関係者の皆様におかれましては、引き続き感染予防策を徹底していただきますようお願いいたします。

2 RSウイルス感染症：5類感染症 [定点把握]

RSウイルス感染症は、RSウイルス（respiratory syncytial virus：RSV）を病原体とする乳幼児に多く認められる急性呼吸器感染症です。

●感染経路

飛沫感染：感染している人の咳・くしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染

接触感染：①感染している人に触れることで伝播がおこる直接接触感染（握手、だっこなど）

②ウイルスに汚染された手指や物品（ドアノブ、おもちゃなど）に触れた手で、口や鼻をさわることによる間接触感染

●潜伏期

2～8日（典型的には4～6日とされています）

●臨床症状

- ・ 主な症状は発熱、鼻水、咳、のどの痛みです。
- ・ 多くは軽症で済みますが、重症化すると喘鳴、咳込み、呼吸困難等の症状がおこり、細気管支炎、肺炎に進展します。
- ・ 初めて感染発症した場合は、症状が重くなりやすいといわれています。
- ・ RS ウイルスは生涯にわたって感染を繰り返し、幼児期における再感染での発症はよくみられますが、その多くは軽症です。
- ・ 成人では通常は風邪様症状のみですが、1歳未満の乳児、低出生体重児、心肺に基礎疾患のある小児、または高齢者が感染した場合は、重篤な症状を起こす危険性が高いため、特に注意が必要です。

●受診・治療

- ・ 呼吸が浅く速くなる、息苦しそうにしている、ゼイゼイと咳が続く、顔色が悪い、元気がないなどの様子がみられた場合には、早めに受診しましょう。特に、生後6か月未満の乳幼児は注意が必要です。
- ・ 治療は、特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。
- ・ 早産児や慢性呼吸器疾患を有する乳幼児には、パリビズマブ（抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体）という薬を使用する場合があります。使用については医師の判断になります。

●予防策

- ・ ワクチンはありません。
- ・ 「手洗い」と「マスクの着用（咳エチケット）」が有効です。
- ・ 子どもたちが日常的に触れるおもちゃやドアノブなどを、アルコールや塩素系の消毒剤等でこまめに消毒しましょう。
- ・ 親や上の兄弟など周囲の人が、気づかないうちに乳幼児にうつしてしまうこともあります。乳幼児のお世話をする前に、手洗い（またはアルコールでの手指消毒）をしましょう。また、咳や鼻水などの症状を認める場合は、可能な限り乳幼児との接触を避けましょう。
- ・ 厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」によると、登園のめやすは、「呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと」です。熱などの症状が消失しても、咳症状がある場合は、登園を見合わせて無理をさせないように配慮しましょう。

3 RSウイルス感染症の流行状況

RSウイルス感染症患者情報は、感染症発生動向調査事業において県内の小児科 34 定点医療機関の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約 3,000 カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

定点当たりの患者報告数（直近の 7 週間）

	週	32 週 8/9 ～8/15	33 週 8/16 ～8/22	34 週 8/23 ～8/29	35 週 8/30 ～9/5	36 週 9/6 ～9/12	37 週 9/13 ～9/19	38 週 9/20 ～9/26
県	患者数	18	26	39	53	47	57	77
	定点当	0.53	0.76	1.15	1.56	1.38	1.68	2.26
全国	患者数	7,469	6,234	6,544	5,899	4,644	3,487	2,398
	定点当	2.46	2.00	2.08	1.87	1.47	1.11	0.76

4 参考

- 沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報 ～速報～」
< 定点把握 18 疾患のグラフ・データ > に、RSウイルス感染症の情報を掲載しています。
<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html#syugepou>
- 厚生労働省「RSウイルス感染症 Q & A」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html
- 厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）
（2021(令和 3)年 8 月一部改訂）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000825345.pdf>
- 日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説（2021 年 6 月改訂版）」
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/yobo_kansensho_20210628.pdf